

8 持続的畑作生産体系確立事業

【令和4年度予算概算要求額 2,076（－）百万円】

<対策のポイント>

近年、かんしよや加工用ばれいしょなどは国内外の需要が高まっている一方、新たな病害虫の発生や労働力不足等の課題を抱えているほか、減農薬・減化学肥料などの環境意識の高まりなどがある中、持続可能な畑作生産体系を確立するため、**地域の基幹作物の病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立、労働負担の軽減、環境に配慮した生産体系の確立等の取組を支援**します。

<事業目標>

- かんしよの生産量の増加（86万トン〔令和12年度まで〕）
- 種ばれいしょの生産量の増加（16.5万トン〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

1. 病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立対策

病害発生リスクを低減しながら地域の基幹作物を持続的に生産するため、近年需要が高まっているかんしよや加工用ばれいしょ等の**病害抑制と生産拡大の両立に向けた取組**を支援します。

2. 労働負担軽減対策

労働力不足への対応と適期作業による病害抑制等を推進するため、**省力作業機械の導入や基幹作業の外部化の促進**を支援します。

3. 環境に配慮した生産体系確立支援

減農薬・減化学肥料など**環境に配慮した生産技術確立のための実証や病害虫抵抗性品種の導入**を支援します。

4. 健全な種子の安定供給対策

一般栽培ほ場での農薬使用量や管理作業を減らすため、**健全な種子の安定供給に向けた取組**を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

▶ 畑作物を取り巻く環境の変化や課題

- ・かんしよや加工用ばれいしょなどの国内外の需要の高まり
- ・新たな病害虫の発生
- ・労働力不足の顕在化
- ・減農薬・減化学肥料などの環境意識の高まり など

環境に配慮した持続可能な生産体系の確立に向けた取組を支援

病害抑制と需要に応じた生産拡大の両立

- ▶ 需要のある作物（加工用ばれいしょ等）への転換
- ▶ かんしよの交換耕作による病害抑制 等



病害発生



翌年



飼料用作物を作付



支援

労働負担軽減対策

- ▶ 省力作業機械の導入
- ▶ 基幹作業の外部化（作業受託組織のビジネス確立のためのニーズ調査、人材育成など）

環境に配慮した生産体系確立

- ▶ 行政・生産者団体・企業等による減農薬・減化学肥料などの生産技術の実証
- ▶ 病害虫抵抗性品種の導入・普及拡大

健全な種子の安定供給

- ▶ 罹病率低減、小粒化
- ▶ 省力作業機械の導入

【お問い合わせ先】 農産局地域作物課（03-6744-2115）